R8年度

第２回進路説明会

要項　　1　校長あいさつ

2　進路に関する概要・状況について

・今後の日程

・各学校の出願、受験などについて

3　学年主任あいさつ

4　閉会の言葉

令和８年１０月２９日（木）

犬山市立犬山中学校

現在の３年生の進路希望状況

第3学年在学生徒数 男子 102名　女子 107名　合計 209名

【進路希望状況】進路希望調査集約結果 ※第1希望のみ

		第3回 進路希望調査（10月） 結果
全日制	国立・公立	162　人
	私立	33　人
定時制		3　人
専修学校		1　人
通信制		9　人
就職（希望）・その他		1　人
計		209　人

３年生の体験参加状況【9 月現在】※のべ人数

公立　　370校

私立　　119校

そのほか　20校

合計509校（一人あたり 2.4校）

★進路予定を月ごとに確認

月	学校行事	進路関係
11月	9日（月）～20日（金）相談週間 13日（金）～17日（火）定期考査3 25日（水）～30日（月）後期保護者会	5日（木）第4回進路希望調査配付。13日（金）学級提出期限 19日（月）～20日（金）推薦希望届（私立・専修・国立・高専）配付。30日（月）提出期限 25日（水）～30日（月）推薦希望届（公立） 配付
12月	23日（水）授業終了日	4日（金）私立進路委員会 10日（木）私立 web 出願指導 **※この日より前には出願しないこと** 10 日（木）～18日（金）私立 web 出願。31日（木）までに私立受験料払い込み完了 17日（木）推薦希望届（公立）提出期限
1月	7日（木）授業開始 12日（火）～14日（木）公立保護者会	※岐阜私立入試（高校ごとで日程は異なります） 7日（木）公立 web 出願 個人情報登録 7日（木）公立進路委員会 12日（火）公立通信前期 web 出願 13日（水）公立推薦・特色・定時・通信 web 出願指導 13日（水）私立推薦・特色入試。合格発表14日（木）～ 13日（水）公立推薦・特色・定時・通信 web 出願指導 18日（月）公立一般 web 出願指導 20日（水）～22日（金）私立一般入試 。合格発表25日（月）～ 25日（月）～公立推薦・特色選抜 web 出願 28日（木）～定時制 web 出願
2月		4日（木）公立推薦・特色選抜入試。合格発表8日（月） 8日（月）公立一般 web 出願 12日（金）定時制入試。合格発表18日（木） 24日（水）公立一般選抜学力検査 25日（木）公立一般選抜A面接 26日（金）公立一般選抜B面接など
3月	5日（金）卒業式	8日（月）公立一般選抜合格発表

<推薦・特色面接 特色プレゼン練習について（希望者のみ）> ※全体での面接ガイダンスは12月始めに行います。

〇通信・定時など・・・随時（担任に申し出を） 〇私立・専修など・・・12／8～23 〇公立・・・1／15～29

・面接が行われる学校を受験する人は先生を試験官にして本番を意識した練習をする（希望者）。

・一連の流れを真剣に行いましょう。回数をこなすことでリラックスして本番を迎えることができます。

・グループ面接と個人面接のどちらが行われるのか、確認しておきましょう。

グループ面接は質問の答えを考える時間があります。他の人の答えを参考にできる反面、内容が重なると焦ってしまいます。複数の答えを準備しておきましょう。個人面接は、質問に対して素早く答える練習をしておきましょう。

☆就職活動・企業内学校の最終確認【11 月】

就職

(1) 就職するまでのスケジュールの目安

	内　容
10月初旬～ 中旬	「求人一覧表」より求人情報を知る（条件などを確かめる）
10 月	進路相談 （生徒 先生 保護者）
10 月	職業適性検査（生徒） 事業所見学 （生徒 保護者 担任） ←アポイントは担任 ハローワークに「職業相談票」を作成・提出（生徒 担任）
11 月・12 月	職業相談（生徒 ハローワーク 担任 家族） 縁故での就職もハローワークを通してもらえるか相談（保護者） ※雇用条件を明確にし、就職後のトラブルを防ぐ。
1 月 26日	愛知県下一斉 採用試験（面接 作文 学科）
1 月～3 月	・内定　　・採用、就職

(2) 中学生の就職活動

中学生は、就職希望者（中学生）と会社の間に中学校の担任、ハローワーク（犬山公共職業安定所）の担当者、保護者が入ります。相談や見学を重ね、愛知県一斉の就職試験を受け内定をもらい、就職します。

18歳未満の年少者の就職には危険な仕事はさせていけないという制限がついていることや、資格や運転免許が必要という条件がある企業もあり、補助やアシスタントという職種が多いです。

(3) 将来の自分のための就職計画

高校生になると入学後すぐに、進学か就職について希望調査が行われる場合が多いです。そして、高校卒業後に就職を希望する生徒は知識や技術を学び、多くの資格を取得します。高校の先生が会社との間に入り、二人三脚で就職活動をします。

大学卒業後に就職する生徒は、自分自身で就職活動をおこないます。会社説明会に行き情報を集めたり、ジョブサポーターというシステムを活用したりして、自分自身に合った会社を見つけます。

それぞれ就職するタイミングは違っても、直前になって「就職活動」についての勉強をしておけばよかったということにならないように、知識は中学3年生の現時点でも増やしていきましょう。

今年度の求人票に載っている職種（一部）

【管内】2社程度　　技術職現場、電工及び土木工

【管外】23社程度　理容・美容補助作業員、調理師見習、飲食店員、介護職、型枠解体大工、鋼材加工、現場作業員、足場施工の技術者、電気工事補助、、左官工事、現場組立、設備配管工、水道設備工事、仮設工事

(4) 企業内学校（企業に進学する）

就職

	トヨタ工業学園（豊田市）	デンソー工業学園（安城市）	陸上自衛隊高等工科学校（横須賀市）
受験校決定	ハローワークとの職業相談（11 月）・後期保護者会		
出願	1月5日まで ※WEB 出願	1月初旬	推薦：11月27日まで 一般：1月14日まで
入学検査日	1月26日～28日	1月下旬	推薦： 1 月9日～11日の内1日 一般： 一次1月23日 or24日 2次：2月11日～14日の内1日
合格発表	最終選考日より約7日後	2月初旬	推薦：1月22日 一般1次：2月5日 一般最終：2月26日
試験科目	3科 適性検査 面接	3 科 面接 適性検査 作文の予定	口頭試験 5科 作文 身体検査
	・3年後は TOYOTA 正社員 ・生徒手当：月約 18万円 （手元に残るのは4万程度） ・工業高校卒業資格あり	・3年後は正社員 ・生徒手当：月 14万円 ・高校卒業資格あり ・女子率高い	・男子のみ ・生徒手当：月約 11万円 ・通信制の卒業資格は可能

中卒者を対象とした企業内学校（TOYOTA、デンソー、日立など）があります。企業内学校では3年間で知識、技術、心身を磨き、将来職場のリーダーとなるための基礎を学びます。勉強も、訓練も「給料をもらう仕事」であるという普通の工業高校に通っている生徒とは意識の高さが違います。覚悟をもって取り組んでください。

【企業内学校 Q&A】

・質問：就職しても昇進とか難しいんじゃないですか？
　答え：No 元副社長の河合さんがトヨタ学園出身です。本人の努力次第です。
・質問：どのくらいの学力があればいいんですか？
　答え：公立高校普通科に合格する学力があれば大丈夫です!!
・質問：私立や公立高校の併願受検はできますか？
　答え：可能です。一般受験であれば、併願は可能です。

☆国立高等学校・高等専門学校の最終確認【12月】

国立

国立例・・・愛知教育大学附属高等学校、名古屋大学教育学部附属高等学校　など
高専例・・・豊田工業高等専門学校、岐阜工業高等専門学校　など

出願条件：第1希望であること（公立・私立もふくめて）※出願の準備は12月中に行う。

・公立高校や私立高校が第1希望の場合は推薦・一般ともに受検することはできない。
・合格したら必ず入学することが出願条件。
・高専は推薦選抜を出願するための条件がある。（学力・部活など）各学校の募集要項で確認する。

＜併願について＞

・私立一般は（第2、第3希望として）受験することが可能。
・公立一般出願は、国立・高専の合格発表前に出願する。したがって、公立高校が第2・第3希望なら出願をする。

合格　→　公立高校に受検辞退届を提出　→　入学手続き

【国立高校・高専を選択するポイント】
- □ 第1希望でないと出願できない。（公立・私立が第1希望は不可）
- □ 費用は公立より高い。寮に入る場合は別で費用がかかる。
- □ 国立は附属であっても大学入試で有利になることはほぼない。（高専は就職か、大学3年生への編入）
- □ 合否判定のルールについても事前に募集要項などで知っておく。（高専）

☆私立通信制高校・サポート校の最終確認【12月】

私立通信

・私立・公立と併願することは可能だが、入学手続き時期が早いので、併願する生徒は少ない。
・入試科目に「面接」があるので、受験することを決めたら、面接練習を行いましょう。
・他の学校より入試時期も早く、合否も早くに決定する。
・人気のある学校・コースは早く定員に達するので、入学を希望する場合は、早めの入試日程で受験することをすすめます。

【通信制高校・サポート校を選択するポイント】
- □ 体験入学・学校説明会に参加して、本当に自分に合う学校か体感してから選択する。
- □ 入試時期がとにかく早い!!　なるべく早く決定し、すぐに願書作成、郵送 or ウェブ出願。
- □ 費用は高い（助成金は基本なし）
- □ 人気が高い（募集人数が少ない）コースもある。
- □ 卒業後の進学や就職のことは特に注意して選択する。

☆専修学校の確認（12月）

専修

	専修学校　推薦	専修学校　一般
受検校決定	後期保護者会	
受検料振込	12月中	
出願	12月9日～	12月9日～
志願変更	なし	なし
入学検査日	1月13日	1月20日～22日
合格発表	入試翌日以降	入試翌日以降

※検定料は各学校による（￥10,000～￥20,000）

＜専修学校を受験するメリット＞

① 基本的な勉強から再スタートできる。
小学生、中学生の頃は勉強が苦手で学校が嫌いだった。不登校を経験したことがある。さまざまな生徒が入学してくるのも専修学校の特徴。合い言葉は「わかる、できる、自信がもてる」

② 専修学校と高等学校の2種類の卒業証書がもらえる。
技能連携校の制度を利用すると通信制の高等学校の卒業証書をもらうことができる。
例 東工専（名古屋たちばな高校） 菊武ビジネス（菊華高校） 名情専（愛産大三河高校）

③ 専修学校は上級学校へ進学にも力を入れている。（専修学校に通う5割以上が進学）
姉妹校の専門学校への進学や、大学の指定校推薦が利用する専門学校もある。
例 東工専、工学院など（電波学園の大学・専門学校の推薦入学や入学金免除がある）

④ 専修学校に合格していても、公立二次選抜を受験することができる。
専修学校に合格をもらい、公立高校に挑戦する。公立が不合格の場合、私立・公立の二次選抜を受けることが可能。

＜専修学校の推薦入試について＞

◎後期保護者会のときに「 推薦特色希望届（専修学校）」を提出する。

★第１希望として強く希望していること。

・推薦は校内進路委員会において検討し、中学校長が推薦する。

→「犬山中学校の代表として受験をすることが認められる」という意味からも学習面、生活面、諸活動での実績、出欠・遅刻・早退日数など総合的に検討される。

・校内進路委員会で受験が認められた生徒が、入試に挑戦し高校で検討され合否が決定する。

・推薦入試で合格した場合は、それ以降の入試を受験することができない。

・入試科目は面接、作文、基礎学力テストなど学校によって異なる。

・入試当日の頭髪・服装・態度などが悪い場合や、テストの結果が著しく劣る場合は不合格になる。

・推薦入学を考えている場合は必ず親子で「学校説明会」や「入試説明会」に参加する。

・推薦受験をするかどうか悩んでいる場合は事前に担任と相談をすることをお薦めします。

＜専修学校の一般入試について＞

専修

・受験日が重ならなければ、私立・専修学校は複数受験することが可能。

・私立・専修学校の結果次第で、公立の受検校に変更がある場合は必ず担任に相談する。

＜専修学校の入試対策について＞

・ 通常の書店では専修学校の過去問は取り扱っていません。しかし、学校説明会や入試説明会に参加すると、昨年度の問題が配付されることがあるので、入試前の説明会に参加しましょう。

・ 基本的な問題が出題されることが多いので各教科の問題集や公立高校の過去問などを使って受験対策勉強を進めましょう。（基礎的な問題をミス無く解く練習がオススメ）

・ 「面接」対策としては、「志望動機」「中学校でがんばったこと」「高校に入学したら何をしたいか」などのよくある質問に対する自分なりの答えを冬休み中に準備しておきましょう。

＜専修学校に関する Q&A＞

質問 私立や専修学校だと入学金や授業料がどうしても払えないのですが何か方法はありませんか？

答え ①入学金については愛知県の入学金補助制度があります。授業料に関しては国の支援制度により授業料は実質無償化となります。いずれも上限があります。志望校の情報を集めましょう。
高校に入学後手続きをする。給付型の場合は高１の秋以降に返金される。学校によっては差額を払う場合もあるので、学校説明会などで確認しましょう。

②成績優秀者には入学金や授業料が全額免除や半額免除になる学校もある。合格通知書に「特待生合格」「奨学生 A」「奨学生 B」などの記入があると授業料などが給付されたり、免除されたりする。条件によっては授業料が3年間全額免除となる場合がある。「条件のつかない合格」を目指すのか、「奨学金のつく合格」を目指すのか担任と相談しましょう。助成金との二重取りが可能。公立高校なみの費用で通学が可能になる。

③教育ローンの制度について調べる
最高 350 万円まで借り入れ可能（固定金利あり）、申込みから 20 日程度で入金という条件でお金を借りるシステムがある。他にも「教育ローン」と検索してみると様々な方法がある。

★ ***高校3年間で必要なお金はいくらかかるのか（入学金、授業料、教材費、設備費、交通費、制服・体操服・・・）***
高等学校の学校説明会で確認してみましょう。

◆私立高等学校等の授業料・入学金補助の内容について（愛知県の場合）

○ 授業料は所得制限を廃止し、実質無償化します。

＜授業料＞

区分	補助上限額（年額）
高等学校全日制	457,200円
高等学校通信制	337,200円
専修学校高等課程	457,200円 （通信制高校併修者に対する上乗せ51,600円）

○ 入学納付金も所得制限を廃止し、本県独自に実質無償化します。

＜入学納付金＞

区分	補助上限額（年額）
高等学校全日制	200,000円
高等学校通信制	34,000円
専修学校高等課程	170,000円 （通信制高校併修者に対する上乗せ19,000円）

※実際の授業料（年額）及び入学納付金額が上記補助額より低い場合は、実際の授業料（年額）及び入学納付金額が補助額となります。
※県内の私立高等学校等に在籍する生徒が対象となります（令和8年度から、県内在住要件を廃止。）。申請手続きは、入学後に学校からお知らせします。

☆県外の公立高校の受検の確認【12月】

県外公立

県外の公立高校を受検する場合は書類をすべて準備するまでに、十分な期間が必要なので、基本的に後期保護者会より前で決定していく。

<手続き>



◆県外の公立高校を受検するという状況が分かり次第担任に連絡する。

① 保護者の住所がその都道府県になること（親の転勤、一家転住など）

② 愛知県教育委員会と受検予定の都道府県教育委員会に中学校を経由して手続きをする。

③ 受検予定の都道府県の独自の入試制度を把握する（学区、手続き等）

◆4月からの住所（都道府県や地区）が確定しないと、県外公立高校の入試の手続きをすることが難しい。（住所未定のまま手続きだけ進めることは不可）

◆状況によっては愛知県の高校に入学後に3月末に転校手続きをする。

（転勤の正式決定が3月上旬という会社の場合は公立合格発表のタイミングで高校に連絡）

◆生徒だけ転住するは基本的に不可。保護者と一緒にその都道府県に転住する。（国外に保護者が居住している場合は県内に保証人を確保する）都道府県によってルールが違うので注意する。

・県外の公立高校と愛知県の公立高校を同時に受けることは不可能です。また、各教育委員会が主催する県外対象者説明会、受験校の体験に必ず参加しましょう。

☆県外の私立高校（岐阜県）の受検の確認【12月】

県外私立

	岐阜県私立入試
受験校決定	後期保護者会
出願	12月
受験料振込	12月中（学校によっては1月以降）
入学検査日	高校ごとに異なります。
合格発表	検査から約 1 週間後

<岐阜県私立高校を受験するメリット>

①犬山駅から 60 分以内で通学可能な学校あり（富田、岐阜東、済美、鶯谷、岐阜女子、美濃加茂など）

②岐阜県は国の補助金はあるが、県の補助金は対象外

③愛知県公立の二次選抜を受検することが可能

→ 岐阜県私立の合否は関係なし

愛知県国立、公立または私立が不合格で、岐阜県私立のみ合格→ 私立・公立の二次選抜が受験可能

☆私立高等学校の最終確認【12月】

私立

	私立学校 推薦	私立学校 一般
受験校決定	教育相談（11月19日～11月20日）	後期保護者会
推薦希望用紙の提出	後期保護者会	
願書	出願指導 （12月10日）	出願指導 （12月10日）
受験料振込	12月中	12月中
Web出願	12月10日～12月18日	12月10日～12月18日
入学検査日	1月 13日	1月20日～22日
合格発表	入試翌日以降	入試翌日以降

<私立の推薦入試について>



★ 第１希望として強く希望している。

◎後期保護者会において「 推薦希望届（私立高等学校）」を提出する。

・推薦は校内進路委員会において検討し、中学校長が推薦する。

→→「犬山中学校の代表として受験をすることが認められる」という意味からも学習面、生活面、諸活動での実績、出欠・遅刻・早退日数など総合的に検討される。

・校内進路委員会で受験が認められた生徒が、入試に挑戦し高校で検討され合否が決定する。

・推薦入試で合格した場合はそれ以降の入試を受験することは不可。 私立推薦入試合格→ 公立を受検することは不可。

・入試当日の頭髪・服装・態度などが悪い場合や、テストの結果が著しく劣る場合は不合格になる。

・スポーツ等の特技による推薦の場合も、「監督・コーチ」と「中学生・保護者」が直接交渉することはなく、高等学校長と部活動顧問から中学校を通して、条件を確認する。

・推薦されても、その後の生活態度に問題があれば、推薦が取り消される。

<私立の特色入試について>

★ 第１希望として強く希望している。

・学校によって実施される学校と、実施されない学校がある。

・私立推薦入試と同日に行われる学校が多い。

・面接や実技、作文など、学校独自の入試問題が行われる。

・特色入試で不合格だった場合、一般入試も受験することができる。

※推薦入試と違い、希望する生徒は全員受験することができる。ただし、推薦入試と特色入試を両方受験することは不可。

・募集要項などで、実施の有無や試験方法について確認すること。

※出願の際、「志望理由」を作成し、提出する。

<特別専願入試について／不登校生徒を対象にした入試>

★ 第一希望と強く考えている。（併願不可）

・入試当日のテスト（学力・面接など）を重視して合否が決まる。（欠席日数などは配慮）

・私立推薦入試と同日に行われる学校が多い。→ 問題は推薦入試と同じ場合が多い。

・各学校の学校説明会などで必ず親子面談に参加する。（高校生活への意思確認）

・学校によっては願書と一緒に「入学志望理由書」を提出する。

<私立の一般入試について>

私立

・私立・専修学校の結果次第で公立の受検校に変更がある場合は後期保護者会で相談する。
・愛知県内は3校まで受験できる。さらに他県の私立高校も受験することができる。
※合格結果が出たら、必ず私立高校の1校へ前納金を納めること。→忘れてしまうと合格辞退とされてしまいます。

<私立高校の入試対策>

①募集要項のチェック
3科・5科、記述・マークシート、試験時間は 40 分・50 分、作文、個人面接・集団面接・親子面接。・・・・検査内容はさまざまで募集要項に記載してある。**まず受験する学校の募集要項をじっくり読み込むこと。**
②過去問は2ヶ月前には取りかかる
解く → 自分の苦手分野確認 → 苦手克服 → 別の年度解く → 確認 → 克服 → ・・・
過去問と同じ難易度、同じ傾向であると予想される。入試問題を使って自分自身をレベルアップさせましょう。
③面接練習（面接がある学校のみ）は話す内容を文字にしておく
質問されそうな内容を文章化しておきましょう。
面接のない学校についても、「長所・短所」、「高校に入ってやりたいこと」、「中学校での思い出」など、話せるようにしておくことも大切です。

<私立普通科に関する Q&A>

質問 普通科のコースは、どう選択したらいいの？
答え 高校生活で大切にしたいことが何かで選びましょう。
特進コース・・・大学進学を目指して、7限～8限、補習がある。授業数が多く、部活に参加できるかどうかは学校によってさまざまなので確認しましょう。国公立大学や難関私立大学に入るのが目標です。
普通コース・・・勉強も大切だけど、部活や学校行事も楽しみたい。授業のペースが特進に比べて遅い。
★入学してからコースを変更することは不可能な学校ばかりなので受験校を決定する時に、コースについても真剣に考えて選びましょう

質問 私立高校はWEB出願の学校がほとんどであると聞いたけど本当ですか？
答え 「Yes」 愛知県私学は、ほとんどの高等学校がWEB出願を利用します。
［準備］ 募集要項にネット出願（願書を作成する）の流れが書いてあるので熟読する。
ネット環境、メールアドレス、PC、プリンター、支払い手段などを準備
［流れ］①事前登録をする（メールアドレス登録、ID などの設定）②必要事項を入力（受験料振込）③印刷④点検
⑤中学校提出 ⑥高校に提出
※学校によって「流れ」、「振込方法の種類」、「時期」など違いがあるので注意してください。

質問 私立の募集要項に特待生の条件が書いてあると聞いたけど本当ですか？
答え 「Yes」 学校によっては特待生の条件が詳しく書いてある場合があります。
私立推薦入試は①入試問題が一般入試よりやさしい、②募集人数が多い、③一般入試より特待生になる可能性が高い。条件にあえば、各種費用が支給される学校もあります。特待制制度に興味がある人は各学校の学校説明会に参加したり、募集要項をじっくり読んでみたりしてください。

☆公立高校（全日制）の最終確認【1月】

公立

	公立（全日制）推薦・特色	公立（全日制）一般
受検校決定	後期保護者会 12月 17日(木) 推薦選抜希望届提出	公立保護者会1月12日（火）～14日（木）
Web 出願指導	1月13日（水）	1月18日(月)
Ｗ　ｅ　ｂ　出　願	1月25日（月）	2月8日（月）
志願変更（保護者）	なし	2 月17日（水）
入学検査日	2月4日（木）	A･B共通 学力検査･･･2月24日（水） Aグループ面接　　･･･2月25日（木） Bグループ面接　　･･･2月26日（金） ※面接は一部の高校のみ
合　格　発　表　日	2月8日（月）（Web 出願システム）	3月8日（月）（web 出願システム）

＜愛知県の公立高校の受検資格＞

・愛知県在住者のみに受検資格がある。

・普通科は尾張学区のみ受検できる。（普通科の三河学区は受検できない）

＜公立高校の一般入試について＞

・一般入試は1群、2群、A グループ、B グループの組合せ可能なペアで2校受検が可能。

・傾斜配点や、評定や得点を 1.5 倍や2倍にする「校内順位の決定方法」という制度についても十分理解して下さい。

・一般入試における合否判定の方法について

調査書の「学習の記録」の評定合計を2倍した数値（最高 90）
学力検査の合計得点（最高 110）

で総合的に判断される。

・校内順位の決定方式の5パターン（R4年度まではⅠ～Ⅲの3パターン）

Ⅰ ･･･（評定得点）	＋（学力検査合計得点）	例 岩倉総合 一宮工科 など
Ⅱ ･･･（評定得点）×1.5	＋（学力検査合計得点）	例 犬山、古知野 犬山総合 など
Ⅲ ･･･（評定得点）	＋（学力検査合計得点）×1.5	例 丹羽 小牧 尾北 など
Ⅳ ･･･（評定得点）×2.0	＋（学力検査合計得点）	例 小牧工科 など
Ⅴ ･･･（評定得点）	＋（学力検査合計得点）×2.0	例 江南 小牧南 西春など

傾斜配点について

	学習の記録	学力検査
スポーツ科学科	保健体育の評定 1.5 倍	
音楽科	音楽の評定 1.5 倍	
美術科	美術の評定 1.5 倍	
国際英語科･国際教養科 国際探究科	英語の評定 1.5 倍	英語の配点及び得点を 1.2 倍

・面接・特別検査の実施日は、Aグループは2月25日（木）、Bグループは2月26日（金）（一部の高校）。

・新型コロナウイルス感染・インフルエンザなどのやむ得ない場合の追検査がおこなわれます。

→追検査も実施できない場合の対応は**今年度もありません。**

<公立高校の推薦選抜入試・特色選抜入試について>

公立

★第１希望として強く希望している。（受検するすべての学校の中で第1希望）

◎「推薦希望届（公立高等学校）」期日までに担任に提出する。※期日：12／17（木）

・特色選抜のみを受検する場合は希望届の提出は必要ありません。

・各学校の「**推薦選抜・特色選抜実施要項**」をよく読み、試験内容や、自分が該当しているか確認をする。

・期日までに推薦選抜希望届を提出しない場合も推薦入試の辞退になります。

・推薦選抜は校内進路委員会において検討し、中学校長が推薦する。また、「犬山中学校の代表として受検をすることが認められる」という意味から学習面、生活面、諸活動での実績、出欠・遅刻・早退日数など総合的に検討される。

・校内進路委員会で受検が認められた生徒が、推薦選抜入試に挑戦し、高校で検討され合否が決定する。

①　推薦選抜入試のみ希望　　②　特色選抜入試のみ希望 ③　推薦選抜入試を希望し、校内進路委員会次第で特色選抜入試を希望　　①～③の大きく3パターン

・校内の進路委員会で推薦選抜入試が認められなかった場合は、特色選抜入試は受検できるが、推薦選抜入試を受検することはできません。その場合に特色選抜入試受検を希望するかしないかは各家庭でよく相談して決める。

・推薦・特色選抜入試の定員は普通科 10～15%、専門学科 30～45%（校内で推薦されても不合格になる可能性大）特色選抜入試の定員は、学校ごとに異なります。

・推薦選抜入試の合否は、提出書類及び面接等の結果を資料として、以下の選抜基準によって判定される。

ア　人物が優れており、運動、文化、芸術、奉仕活動等（特別活動及び総合的な学習の時間における活動を含む。）のいずれかにおいて優れた能力・適性及び実績等を有する者。第2学年までに獲得した実績や成果、第3学年における取組の状況、努力のプロセス、獲得を目指した成果と同等以上の技術や能力等を身につけたこと。 イ　人物が優れており、恵まれない環境を克服し、向学心に富み、生活態度が他の模範となる者。 ウ　人物が優れており、調査書の「学習の記録」が優秀である者。 エ　人物が優れており、将来その専門学科に関する職業に就く意志を有する者。

・特色選抜入試の合否は、提出書類や面接及び、学校独自の試験の結果を資料として判定される。

・推薦・特色選抜は、一般入試と別の日程で行われます。（推薦・特色選抜と一般の両方の受検が可）

・推薦入試の科目は面接のみ

例年の質問	①あなた自身のよい所を PR してください。 ②あなたは 10 年後どのような人物になっていたいと考えていますか。 ③中学校生活で一番印象に残っている事と、そう思う理由はなんですか。など

○特色選抜におけるプレゼンテーション・作文について

プレゼンテーション	作文
・発表テーマは、高等学校において設定する。 ・検査場への持ち込みを認める発表資料は、紙の資料のみとし、A4版片面印刷で2枚までとする。この資料の検査時の取り扱い（評価者に配付する、書画カメラ等で投影する等）については、高等学校において決定する。 ・検査時間は、1人当たり20分以内とする。受検者の発表に対する質疑応答の時間の有無は、高等学校において決定し、その時間についても高等学校において決定する。 ・プレゼンテーション実施校における面接は、プレゼンテーションに続けて実施する。（2日間に分けて実施する場合は除く）面接時間は、プレゼンテーションとは別に、高等学校において設定する。	・題は、高等学校において設定し、受検者には検査当日に示す。 ・文字数・検査時間は、「400字以下・40分」または、「600字以下・50分」のいずれかを高等学校において選択する。

※特色選抜内容の詳細については、特色選抜実施要項（高校HP）より確認する。

☆公立高校（定時制）について【1月】

公立定時

	定時制	2次選抜 ※欠員が生じた場合 実施
受検校決定	公立保護者会	定時制 or 全日制 合格発表後すぐ
Web出願指導	随時	随時
Web出願	1月28日（木）～2月4日（木）	3月4日（木）～3月11日（木）
志願変更（保護者）	2月5日（金）	3月12日（金）
入学検査日	2月12日（金）	3月16日（火）
合格発表日	2月18日（木）	3月17日（水）

<併願について>

・私立高校や専修学校との併願受検は可能
・定時制は、公立高校全日制（A グループ・B グループ）や通信制前期、通信制フレキシブルハイスクールとの併願受検はできません。

<定時制・二次選抜 共通事項>

・入学志望者は1校1学科に限り出願することができる。
・入学検定料 950円
→クレジットカード決済・ペイジー決済・コンビニ決済
・欠席に関する自己申告、受検配慮申請を提出することができる。
・定時制二次選抜は、全日制二次選抜との併願受検はできません。

<入学検査の方法>

9:10～ 9:55　「基礎学力検査」（国語・数学・英語）
※「基礎学力検査」・「作文」　基礎学力検査・作文後 「面接」

・基礎学力試験を実施しない近隣の定時制高校（作文と面接はある） 犬山（後期）、小牧（後期）、一宮（前期・後期）など

例年の作文の内容
「私が目標としたいこと」「高校で身につけたいこと」
「高校で学びたいこと」「高校生活で大切にしたいこと」
「私が目指したいこと」「高校生活で心がけたいこと」　など

☆公立高校（通信制）について【１月】

公立通信

「愛知県立旭陵高等学校」・「愛知県立刈谷東高等学校」2校　　＊3年間で卒業することはできる。（標準は４年）

	通信制　前期	通信制　後期
受検校決定	公立保護者会	定時制・全日制　合格発表後
Ｗｅｂ出願指導	随時	随時
Ｗｅｂ出願	１月１２日（火）	定時二次募集後なら3月１７日（水）
志願変更	なし	なし
入学検査日	１月24日（日）	3月23日（火）
合格発表日	１月27日（水）１0時（web システム）	３月24日（水）１2時（web システム）

＜通信制前期・通信制後期　共通事項＞

・入学志望者は１校１学科に限り出願することができる。

・入学検定料　なし

・作文・面接を行う。（作文のみ・面接のみの場合もある）

・欠席に関する自己申告、受検配慮申請を提出することができる。

＜併願について＞

・私立高校や専修学校との併願受検は可能

・通信制前期は、**公立高校全日制（A グループ・B グループ）や定時制との併願受検は基本しない。**

・通信制後期は、基本的に定時制などの二次選抜の不合格が確定してから出願する。

※公立の通信制高校は入学しやすいが、「続ける」こと「卒業する」ことは大変難しい。大量の課題をコツコツ取り組むことや、時間がかかっても卒業したいという強い意志が必要になります。

☆公立高校（通信制フレキシブルハイスクール）について【１月】

フレキシブルハイスクール　2025 年4月より開設　※出願などの日程は定時制と同じ

＜特徴＞



・既存の全日制課程を、興味や関心に合わせて自由に科目を選択し、自分のペースで学ぶことができる「単位制」に改編。

・小規模の昼間定時制課程と通信制課程を新たに併置。

・通信制課程のスクーリングを原則平日に実施。

・スクーリングのない日にも登校し、教員への質問や自習が可能。

・他の課程に「転籍」し、同じ学校で学び続けることが可能。

・「併修」制度により、在籍する課程とは異なる課程の科目を履修し、単位を取得することが可能。

設置校	学科・募集人員（１学年）		
	全日制	昼間定時制	通信制
県立佐屋高等学校（愛西市）	農業科 家庭科	各学校 普通科 20 人	各学校 普通科 40 人程度
県立武豊高等学校（知多郡武豊町）	普通科		
県立豊野(ゆたかの)高等学校（豊田市）	普通科		
県立御津(みと)あおば高等学校（豊川市）	普通科		

※詳しくは進路担当まで

公立高校に提出する書類（WEB 出願）について【1月／2月】

公立出願

※今年度も WEB システムの試行を行いますので、第2回進路説明会後に生徒に向けてガイダンスを予定。

・入学検定料は第一希望校の1校のみ 2200 円 （2校受検する場合も2200 円）
クレジットカード決済・ペイジー決済・コンビニ決済で支払う。

＜web 出願指導＞ 推薦・特色・定時・通信 （1月13日） 一般（1月18日）

＜web 出願＞前期通信（1月12日） 推薦選抜・特色選抜（1月25日） 定時・フレキシブル（1月28日）

一般選抜（2月8日）

＜志願変更願・志願順位変更願＞※推薦・特色・外国人生徒・全日制単位制選抜の志願変更は不可

・志願変更の流れ（全日制の場合）

① 志願状況の発表を確認する。
② 中学校に「志願変更をする」という連絡をする。
③ 保護者、本人、担任で必要書類の作成（web システム）
④ 中学校担任・校長が承認をする。
⑤ 新しい受検票を受取、手続き完了

・志願変更は1校1学科に限り認められる。（2校とも変更×、志望順位のみ変更×、推薦希望校を変更×、1校から2校に受検校を追加×）
・変更できる学校も群やグループの制限がある。（同一の群・グループ内のみの変更可能）
・「倍率が高い・低い」という理由だけで志望校を変更すると、やっぱり最初に決めた学校の方がよかったかも・・・と後悔する可能もあります。3年間がんばれるのかをしっかり判断して、「志願変更」という選択をしてください。

＜欠席に関する自己申告＞

・公立の全日制、定時制、通信制の高等学校に、web より提出することができる。
・中学2、3年のいずれか、または両方で、欠席日数が年間30日程度以上の志願者のうち希望する者は「欠席に関する自己申告」を提出することができる。保健室登校、相談室登校、適応指導教室登校などの日数を含めることができる。（後期保護者会や公立保護者会に担任に申し出る）
・所定の様式に、欠席の理由、志望の動機、高校生活への抱負などを志願者本人が記入し、web 上で提出。

＜受検配慮申請＞

・障がい等（病気又は事故による負傷を含む）により、学力検査、面接などにおける配慮が必要な志願者のうち希望する者は「受検配慮申請」を提出することができる。事前に分かっている場合は保護者会で担任に申し出る。入試直前の事故の場合は大至急申し出る。
・例 車イスを利用しているので、入試会場を2階、3階ではなく、1階にしてほしい。
左耳が聞こえにくく、リスニングが聞き取りにくいので、別室で受検したいなど
・事前に分かっている内容については11月中に中学校より高校へ報告
・私立高校受験の場合は、書類の提出はないが、配慮のお願いを中学校側でおこなうので、11月25日からの後期保護者会で担任に伝える。
・受検配慮申請は、「受検上の配慮に関する申請書」を提出する志願者のうち、希望する者が提出できる。

公立高校（全日制）入試について【2月】

公立

＜学力検査の日程・科目＞ 8:20 には高校到着　着席完了 8:50 ＊実施時間の5分前に問題配付

	教 科	実 施 時 間	テスト時間
1限	国 語	9:10 ～ 9:55	45 分
2限	数 学	10:20 ～ 11:05	45 分
3限	社 会	11:30 ～ 12:15	45 分
昼食		12:15 ～ 13:05	
4限	理 科	13:15 ～ 14:00	45 分
5限	英 語	14:25 ～ 14:35 14:50 ～ 15:30	聞き取り 10 分 そのまま待機 筆記　　40 分

【持ち物】
・受検票　　・筆記用具
・定規（直定規）
・鉛筆けずり
・腕時計
　（アップルウォッチなどは×）
・下敷き（無地のもの）
・上履き　　・上履き袋
・昼食　　・交通費など
※その他、不必要な物は厳禁

・各教科 22 点（国際英語科、国際教養科は英語で傾斜配点し得点の 1.2 倍）
・ジャージやウインドブレーカー、コートなどの防寒具は着用してよい。
・膝掛け、座布団、耳当てなどの防寒具は必要に応じて使用が認められている。
・ティッシュを机上に置くときは、中身のみ取り出して置く。
・携帯電話及び、情報通信機能・計算機能付き時計などの持ち込み禁止です。
　アラーム機能などで検査中に音が出ないようにする。やむを得ない理由で、携帯電話を持っていく場合は、集合時に高等学校の先生に必ず預かってもらう。（自分から報告すること）
・定規は分度器の機能がついていないもので、不要な言葉などが印字されていないものにする。
・教室の時計は外されていたり、見えないようにしてあったりする場合があるので**「腕時計」は準備する**。
・2日目（面接がある学校のみ）の集合時刻などは事前に分かる学校もあるが、学力検査当日に発表される学校もある。
・第1学年からコース選択を実施する学校については、コースの希望が募集人数を上回っている場合は、希望したコースに入れない場合があることを知っておく。

〈公立高校の特別検査について＞

・特別検査の実施日は出願先の学校の指示に従うこと。（日程注意）

デザイン科	表現活動（鉛筆による正確な描写・紙を使った立体の構成）
美術科／音楽科	表現活動（鉛筆デッサン）／専攻別検査、聴音（旋律聴音・和声聴音）、新曲視唱
スポーツ科学科	10 種目から1種目を選択、もしくは運動能力テスト

＜公立高校の追検査について＞

・追検査を実施（特別検査実施日）
・公立高校全日制のみ実施される。公立高校の推薦、特色、定時制、通信制、二次選抜などは追検査を行わない。
・高等学校長が「やむえない理由」で受検できなくなったと認めた場合のみ受検することができる。
・提出書類 （検査当日の 17 時までに web で必要事項を記入し申請 ） ※必ず事前に中学校に相談すること
　① 追検査受験申請（web）　② 医師の診断書等の理由を証明する書類の画像データ（web）
・受検中の急病により、途中から受検できなくなった場合は、高等学校長の判断で、追検査の対象となる。（受検していない教科を後日受検する）
・追検査でも5教科すべての学力検査と面接を受検できなかった場合は、一般選抜の対象にならない。
→「特別な追検査」は、実施されない。

<受検辞退届>

公立

・公立検査（学力・面接）を受検できなくなった場合に「受検辞退届」を web で提出する。（必ず中学校に相談）

① 出願後に、国立（私立）合格がきまり、第 1 希望の合格が決定し、受検しない場合
② インフルエンザ・新型コロナウイルスなど病気（診断書必要）で、検査（学力・面接）を受けられなくなった場合
③ 寝坊などの理由で時間に間に合わず、面接・学力検査を受けていない場合 （受けていない教科が1つでもあると受検辞退届が必要）

<合格辞退届>

・私立高校一般入試の場合は「入学金（前納金）を振り込まない」ことで「合格辞退」ということになります。しかし、国立高校、私立高校推薦入試、専修学校推薦入試、公立高校の場合は合格したら必ず入学するという約束のもと受験（受検）をしているので、合格を辞退するための「合格辞退届」を提出します。

※後期保護者会、公立保護者会で「合格辞退届」を提出しない受検校選びをお願いします。

<公立高校の第2次選抜について>

・公立全日制出願 3月8日～3月11日 、 志願変更 3月12日
　　入学検査 3月16日（8時30分から12時頃まで） 、 合格発表 3月17日
・私立・専修学校も二次募集という形で若干名の募集をおこなっている。条件は公立高校の二次選抜と同じだが、不合格の私立をもう一度受験することはできない。
・合格者が募集定員に満たない高校・学科で実施する。（募集発表は公立合格発表後）

受検資格のある場合

①愛知県内の国立・公立・私立のいずれかの学校に、出願・受験（受検）した者
②愛知県内の国立・公立・私立を受験（受検）したが、いずれの学校にも合格していない者

例1　私立を受験し、すべて不合格。公立も受検しすべて不合格だった。資格あり。
　　公立・私立・専修学校どの校種も若干名の2次募集をしています。
　　公立以外の2次募集を受験することも可能。
例2　私立と専修学校の受験し、私立は不合格で、専修学校は合格であった。公立は不合格。資格あり。
例3　私立は岐阜県私立のみを受験し合格した。公立は不合格。二次選抜の資格あり。
　　二次選抜の受検の手続きをするか、岐阜私立の入学の手続きをするかを選択する。
　　（二次選抜受検後に岐阜私立に入学手続きをおこなうのは不可）

受検資格がない場合

①愛知県内の国立・公立・私立を1校も受験（受検）していない者
②愛知県内の国立・公立・私立を受験（受検）して合格をもらっている者

例1　私立は受験していない。公立の出願はしたがインフルエンザにかかり、受検できる状態になかったので、
　　「受検辞退」をした。どの学校も受験（受検）していないので資格なし。
例2　私立は受験し合格をもらったが、前納金を納めなかったので、合格取り消しになった。
　　そして、公立は2校とも不合格になった。私立に合格したため、資格なし。
例3　私立・公立高校は受験（受検）せずに、専修学校のみ受験した。
　　専修学校は高等学校ではないので、どこの高等学校も受験（受検）していないので、専修学校の合否に
　　関係なく資格なし。（技能連携校の合否は関係なし）
例4　岐阜県の私立は受験したが、愛知県の私立・公立はどこも受験（受検）していない。
　　愛知県の学校に出願・受検していないので、岐阜県の合否にかかわらず資格なし。

＜入試の時の Q&A＞

公立

質問 入試当日に特別警報が発令された場合どうなりますか？

答え 直ちに入学者選抜は停止されます。

質問 入試の時に遅刻したらどうなりますか？

答え 遅刻の理由、到着時間によって対応が異なります。

理由	受検者の対応	どうなる
やむえない理由で遅刻したと高校側が認める場合 例 事故・雪などにより電車が遅れる	受検できない教科があるなら、追検査願書を作成し、後日受検する。	・9:30までに入室できれば、1限は別教室で、終了時刻を遅らせて受検可能。 ・2限以降に到着した場合は、受検できなかった教科を後日「追検査」
通常の遅刻の場合 例 寝坊、自動車・自転車トラブルなど	9:30 に間に合わなければ、受検不可。 →「受検辞退届」を提出する。	・9:30 までに入室できれば受検が認められる。(残り時間で受検) ・2限以降は通常通り受検できる。 ・9:30 以降に到着した場合は受検が認められない。面接検査についても到着時刻によって、受検がみとめられなくなる。

☆公立合格発表・卒業後の動き（3月）



〈公立高校の合格発表について〉

推薦・特色　2月8日（月）　11:30～　（web 出願システム）

一般　3月8日（月）　10:00～　（web 出願システム）

※各高等学校での発表は行いません。県のホームページでも発表を行います。

＜入学手続き・合格者登校日＞

・高等学校合格者（国立・私立・公立・専修学校）には「合格通知書」と同時に「合格者登校日」や「入学手続き」のプリントが手元に届きます。

・合格者登校日には親子で参加します。保護者には体育館などで入学についての説明を行い、生徒は学級編成テストを行っている学校もあります。集合時間、集合場所、持ち物など各自でしっかりと準備・手続きをしてください。

・公立不合格で私立入学の手続きをおこなう場合も、私立高校合格時に送られてきた「手引き」で、入学後納金の振込、入学手続き、登校日を確認して下さい。※高校 HP に記載されていることが多いです。

・3月の高校登校日は、中学校の制服で参加します。受検票や上履きや体育館シューズなど必要な物を忘れずに持っていきましょう。

・私立推薦合格者は高校から登校日までの「宿題」が渡されている場合があります。最初の提出物から指導されることがないように、課題に取り組みましょう。

＜3 月 31 日までは犬中生＞



・卒業式が終わっても、3月31日までは中学校に在籍です。卒業してから迷惑をかけない。

髪を染める、アルバイトをする、無断外泊をする、触法行為など中学校で許されていないことは避けましょう。また、卒業後に中学校の先生に会って相談したいことがある場合は電話でアポイントを取り、制服もしくは体操服で登校してください。

※卒業後の中学校への登校日はありません。

いよいよ 進路決定！ ひとりひとり それぞれの道へ！

受験・卒業に向けて！

相談週間にしっかり話し合おう

１１月の相談週間で朝や帰りの時間を利用して担任の先生に進路関係等、不安なことを話しましょう。この期間で、**私立推薦を希望する生徒は用紙を担任からもらって下さい。**後期保護者会で私立受験校、公立推薦希望などを決定していくためにさまざまなことを相談しましょう。焦って受験校選びをするのではなく、「あと１ヶ月で決める」という強い意志をもって、家庭での相談や高校説明会に参加したり、担任と2者・3者で事前保護者会を行ったりするなど進路決定に向かって進みましょう。

冬休みの過ごし方



＜面接練習＞

・面接で聞かれそうな質問と、それに対する答えの準備

募集要項を確認すると入試科目が5科・3科だけでなく、面接や作文がある学校があります。１０分程度の時間で自分のよい所を伝え、自分自身の事を理解してもらうためには、準備が必要です。「長所・短所」「自己 PR」「将来の夢」「高校生活でがんばりたいこと」「中学校の思い出」などをノートに書いてみましょう。自分以外の第三者がその文章を読んでもらい、伝わったかどうか判断してもらいましょう。時間のある時期に取り組みましょう。

＜受験勉強＞

・苦手教科・分野が分かっている場合は「苦手克服」がよい

苦手を克服するのには時間がかかります。まずは、基本問題・標準問題を中心に学習します。

・新しい問題集を買う場合は、「薄い問題集」

毎日の課題や、私立・公立の過去問、私立入試、学年末テスト・・・ポイントを絞った「薄い問題集」をやりきりましょう。

・私立過去問は時間を計ってチャレンジしよう。

マークシート、記述式、理科・社会合わせて５０分・・・。定期テストや実力テストと形式が違う入試の場合は必ず１年分は時間を計って取り組みましょう。「全てを理解」ではなく、「平均点程度」を目標にするとよいと思います。「入試の傾向」をつかむのが目標です。

・公立の特色選抜入試の対策をする。

・公立高校過去問を１年間分は解いてみる。

3年生の冬休みの段階で、入試問題の7割以上の範囲を学習しています。冬休みの時間のある時期に過去問を解いてみて、自分自身の実力を試しましょう。

後期保護者会ついて

① 自分自身の意見を明確にしておく

事前に親子の話し合いをして、意思を明確にしてから保護者会に臨みましょう。

② 新たな選択肢が欲しい場合は事前保護者会

新たな選択肢がほしかったり、不安なことが多かったりする場合は、保護者会よりも前に担任の先生にアポを取り、事前保護者会を開きましょう。

③ 過去問を解いてみる

体験入学・学校説明会で気に入ったとしても、入試問題を解いてみたら、半分も解くことができない・・・・。現時点の自分の力とその学校との距離を測るためにも過去問は早い段階（2ヶ月以上前）から取り組み始めましょう。

不安なことなどある場合は、保護者会前に担任の先生と話し合い（電話・直接面談）をしておきましょう。保護者会では10分程度しか時間が設けられていません。

<どんなことを話し合うのか>



・就職関係の最終確認
・国立高等学校・高等専門学校の最終確認
・私立高等学校の最終確認
・専修学校の最終確認
・私立通信制高校・サポート校の最終確認
・県外の公立高校の受検の確認
・県外の私立高校の最終確認
・推薦入試（国立・公立）を希望するかしないか　など

【生徒のチェック項目】

	内　容	月日（締切）
□	前期通知表を使って今後の目標・具体的な行動をしっかり話し合った。	10月中旬
□	実力テストでは自分自身の力を 100%発揮することができた。	実力テスト
□	受験予定の学校の「学校説明会」にはすべて参加した。	後期保護者会までに
（□）	私立・専修推薦希望者は、「推薦希望届」を提出した。	期日までに
□	親子でしっかり進路希望について話し合うことができた。	相談週間前までに
□	第3回定期考査に向けて対策は完ぺきだ。	定期考査
□	推薦受験（受検）をするかしないか担任・保護者と話し合った。	相談週間中に
□	自分自身の意見と親の意見は一致している。	11 月中

【保護者チェック項目】

	内　容	月日（締切）
□	前期通知表を使って「今後の目標・具体的な行動」をしっかり話し合った。	10月中旬
□	高等学校の学校説明会やﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄや募集要項、ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞをチェックし、学費、大学進学、資格取得、就職実績など大人の視点で高等学校を検討した。	11 月中 私立推薦は10月中
□	親子でしっかり進路希望用紙を使って話し合うことができた。	第4回進路希望調査
□	推薦受験（受検）をするかしないか親子で話し合った。	相談週間
□	生徒と担任がどんな話し合いをしているか把握している。	相談週間
□	親子で意見は一致している。	11 月中

公立保護者会（※公立を受験する生徒と保護者が対象）

公立高校（全日制・定時制・通信制）を受検する生徒のみ保護者会を行う。***公立推薦選抜受検が認められたかどうか決定後におこなわれる保護者会なので、公立保護者会で公立推薦の話をすることはありません。***

①組合せ可能な第１希望、第２希望の公立高校のペアを決めておく。

公立保護者会で第１希望を決め切れていないと10分の間に第１希望、第２希望、変更の場合を漏れなく考えることが難しくなります。また、組合せ可能なペアで第２希望を決めることで悩んでいる場合も同じです。心配な場合は事前の保護者会をしたいと担任に申し出て下さい。

②変更する可能性がある場合は、どのタイミングで、どの公立高校の組合せにするか家族で相談する。

例1　私立の●●高校に特進コースで合格したら、公立高校は1校受検、進学コースなら2校受検。

例2　出願後の倍率発表で倍率が3倍を超えていたら、●●高校の機械科から、建・土科に変更。

事前に決めておけば、改めて保護者会をして確認しなくてもよくなります。そして、深く考えずに焦って変更するのではなく、じっくりと考えて納得のいく変更を目指しましょう。

<どんなことを話し合うのか>

・公立一般の受検校の最終確認　・定時前期・後期の受検校の確認　・私立合否で公立受検校変更のある・なし

・もし「○○なら◆◆にする」を確認　・倍率をみて志願変更するかしないか　・web 出願個人登録は行ったか

【生徒のチェック項目】

	内　容	月日
□	受験予定（私立）の学校の交通アクセス方法・費用などを調べる。	12月中
□	受験予定（私立）の学校の過去問に取り組む。	12月中
(□)	公立推薦選抜受検希望者は「推薦希望届（公立）」を提出した。	期日までに
□	私立高校の出願手続きを行うことができた。	期日までに
(□)	公立特色選抜受検希望者は試験内容を確認し、対策をした。	12月中
□	公立受検予定者は公立過去問を各教科1年間分は取り組んだ。	12月中
□	自分自身の「不安・心配」を保護者に話している。	12月中
□	自分自身の意見と親の意見は一致している。	12月中
□	規則正しい生活をして、体調を崩さずに冬休みを過ごすことができた。	冬休み
(□)	私立推薦受験者は面接練習を親子でおこなうことができた。	冬休み

【保護者のチェック項目】

	内　容	月日
□	私立・公立の過去問を使って受験対策をする姿がみられた。	12月中
□	私立高校の出願手続きを親子で行うことができた。	期日までに
□	自分自身が立てた目標を達成しようと冬休みがんばっていた。	冬休み
□	面接練習を親子で取り組むことができた。	冬休み
□	自分自身の「不安・心配」を保護者に話している。	冬休み
□	公立受検予定者は志望校を親子でしっかり確認し合うことができた。	冬休み
□	私立高校の受験料を入金できた。	12月中